

高等学校入学者選抜審議会 最終答申

「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」

このことについて、下記により実施しますので、お知らせします。
取材を希望される場合は、当日、時間までに会場へお越してください。

記

「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」に関する最終答申について

- 1 日時 平成29年3月14日（火）午後3時30分から午後4時まで
- 2 場所 宮城県行政庁舎 16階 教育長室
- 3 出席者 高等学校入学者選抜審議会 委員長 柴山 直（東北大学教授）
教育委員会 教育長 高橋 仁
- 4 概要 本答申は、昨年7月25日の諮問以来、「中間まとめ」に関する意見聴取会及びパブリックコメントで各方面から頂いた御意見をもとに必要な修正を加え、審議会で3回、小委員会で5回の計8回の議論を経て、今回まとめられたものです。

● 今後の「改善の方向性」

・ 適正な入試期間の設定について

現行制度における入試期間の長期化により生じている、中学校及び高等学校双方の教育活動の根幹に関わる課題を解消するため、入試日程を一本化する方向での見直しが必要であり、できる限り速やかに具体的な改善に着手することが望ましい。

・ 特色ある選抜の在り方について

高等学校がより明確に学校の特色を明示することで、受験生が主体的で充実した学校生活を送る意識が高まり、中学校及び高等学校双方にとって利点があると評価しており、高校の特色に基づいて行う選抜は、継続して実施することが望ましい。

・ 入試事務の在り方について

公正・厳正な入学者選抜を実施する上で、正確な事務作業が求められる中、入試期間の長期化に伴う多忙化、在校生に対する授業時数の確保が困難な点等に課題があることについては、入試日程を一本化することが、課題の解消につながる。